



ホテルの窓の外はすぐに太平洋



◀ハマギクは太平洋岸に自生する宿根草だ



館名を一新して再スタートを切った今も、秋田県内のバス会社がしばしばこのホテルに向けたツアーを企画しており、行ったこと

「三陸花ホテルはまぎく」は、その名の通り、太平洋岸の岩手県三陸地方に所在している。2011(平成23)年の東日本大震災発生時(当時の館名は「浪板観光ホテル」)、建物に津波が押し寄せ甚大な被害を受けた。宿泊していた秋田県からのグループ客は全員無事で、宿のスタッフが運転するマイクロバスで秋田まで送り届けてもらったというエピソードは、多くの県民の記憶に新しい。

今春、三陸地方に明るいニュースがあった。三陸鉄道リアス線的全線開通である。JR山田線の海沿いの区間である宮古駅―釜石駅間は、津波で壊滅的な被害を受け震災後

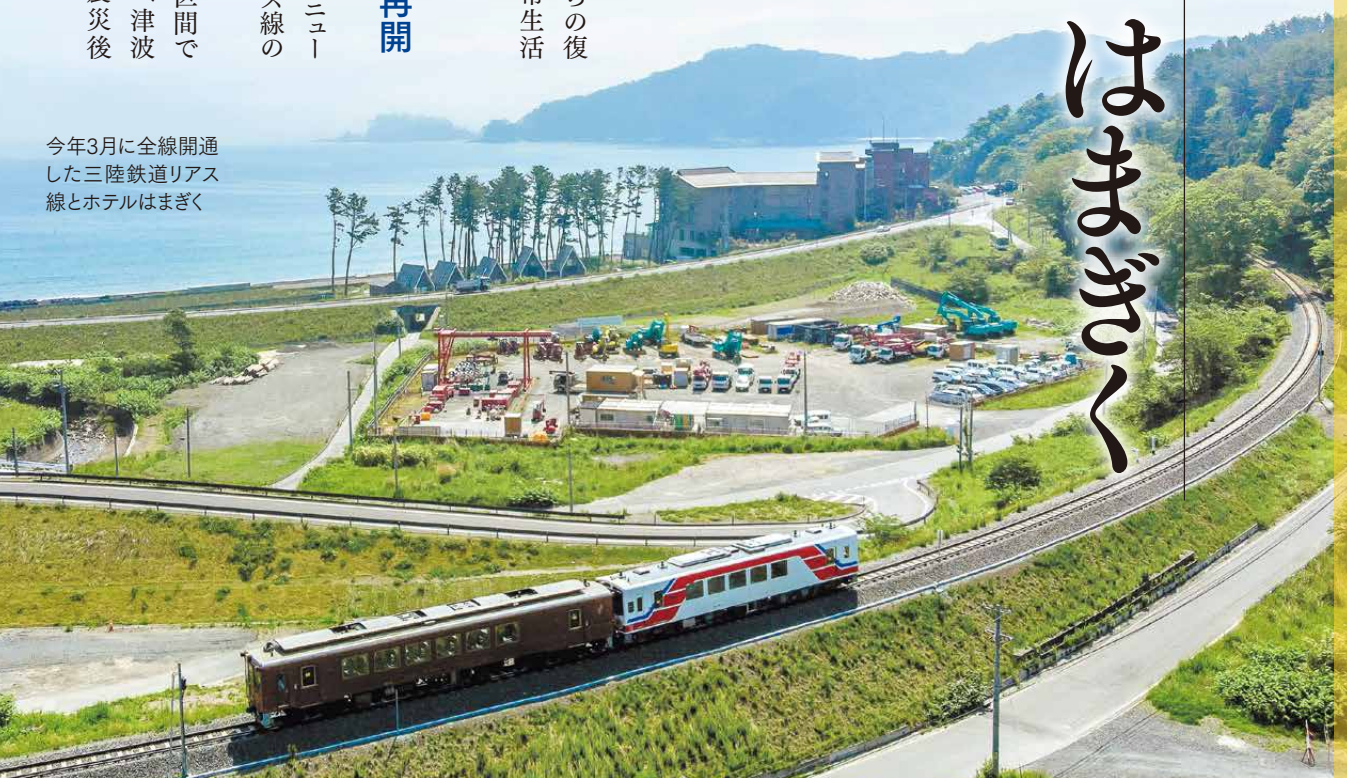
悲願の鉄道運行も再開

のある県民もいるだろう。今、三陸地方は震災からの復興工事が進み、人々は日常生活を取り戻してきている。



震災発生時に泊まっていた縁で秋田県民との交流が今も続いている

今年3月に全線開通した三陸鉄道リアス線とホテルはまぎく



みちのく
ココロと
カラダの
癒し旅

達人の旅指南
第107回

フリーライター 加藤隆悦

三陸花ホテル はまぎく

岩手県
大槌町



1 先付けはホテルイカ沖漬け、ホタテ酒盗和え、赤ホヤ塩辛 2 お造りとホヤ酢、ニシン麹漬、ズワイガニ、殻付きウニなど 3 ホタテ陶板鍋 4 ヒラメのミルフィーユ仕立て 5 炊きたてをいただくウニご飯 6 キンメ葛打ち 枝豆つまれの吸い物



上皇ご夫妻は以前、2度にわたって宿泊された(上は記念碑)



船越湾越しの朝日が差し込む大浴場



ラグビーW杯開催に向けて改装したトリプルベッドの洋室



W杯宿舎になることを契機に、和洋を切り替えられる仕様に(左は和室に切り替えた部屋)



館内は至るところ花で彩られている



町内の文化交流センターには「復興への歩み」をテーマにした写真パネルが展示されている。ぜひ訪れたい

今秋、ラグビーW杯日本大会が国内12都市で開催されるが、そのうちの2試合が釜石市で行われる。参加チームの宿舎にはまぎくが選ばれたのだ。そのためホテルでは、一部の客室を和室にも洋室にも切り替えられるようにした。(試合期間中の9月23日〜27日、10月1日〜4日は全館貸切)

海辺の宿なので海の幸がふんだんに出てくるのは当然だが、特徴的なのは、ホテルイカの沖漬け、ホタテの酒盗和え、ホヤ酢などの珍味も多いことだ。好物と言う人には大いにお勧めしたい。

バリアフリーの客室も2室用意されている。出歩く機会の減ったおじいちゃん、おばあちゃんを誘っての家族旅行もいだろう。

車で向かう場合は、本年6月22日の釜石山田道路の開通で、ホテルの最寄りである大槌ICまで秋田自動車道から自動車専用道路に乗りっぱなしで到達できるようになった(釜石自動車道の東和ICより先は無料区間)。これまでよりもぐんと近くなった。

(文・写真IIかとつりゆうつー秋田市)



三陸鉄道浪板海岸駅も真新しい。ホテルまでは歩いても行ける

これは、秋田の旅好きの人にも朗報と言えるだろう。県北の人は盛岡駅、宮古駅経由で、県南の人は北上駅、花巻駅、釜石駅経由で、列車を乗り継ぎホテルまで行けるようになった。ホテルの最寄り、三陸鉄道の浪板海岸駅。(駅からホテルまでの送迎は要事前予約)

海珍を堪能したい

ホテルにも今年は大きなニュースがある。

なお、JR釜石駅―花巻駅間では定期的に観光SL列車「SL銀河(全席指定)」が運転されている。年内は、8月1、8日と、8月・9月の毎日曜日が釜石発花巻行きの運行日だ。はまぎくに泊まって翌日SL列車に乗って帰ってくるという旅も楽しそうだ。



1 三陸鉄道大槌駅は「ひょっこりひょうたん島」をモチーフにしている
2 ひょっこりひょうたん島に登場するキャラクターが駅のそこそこに
3 釜石と花巻を結ぶSL銀河にも乗ってみたい

三陸花ホテル はまぎく

SANRIKUHANAHOTEL HAMAGIKU

〒028-1101 岩手県上閉伊郡大槌町浪板海岸

TEL.0193-44-2111 FAX.0193-44-2053

<http://www.sanriku-hana.jp/>

※各種宿泊プランがあります。詳細はホームページをご覧ください、電話でお問い合わせください。